

# 児童アンケート結果

	質問項目	R6後期					R6前期	増減	
		A	B	C	D	A+B	A+B		
生徒指導 他	1 学校へ行くのは楽しい。	人数	39	15	3	4	54	53	↘
		%	63.9	24.6	4.9	6.6	88.5	93.0	
	2 自分には、よいところがあると思う。	人数	36	18	5	2	54	49	→
		%	59.0	29.5	8.2	3.3	88.5	86.0	
	3 自分の役割に責任をもち、仕事をがんばっている。 (委員会 クラスの係活動 そうじ 給食当番)	人数	38	21	2	0	59	51	↑
		%	62.3	34.4	3.3	0.0	96.7	89.5	
	4 自分の目標に向かって、努力している。(夢の木 目標 やめあて)	人数	39	19	3	0	58	53	→
		%	63.9	31.1	4.9	0.0	95.1	93.0	
5 友だちとなかよくなったり、助け合ったりしている。	人数	48	12	1	0	60	56	→	
	%	78.7	19.7	1.6	0.0	98.4	98.2		
6 友だちにいやなことをしたり、いじめたりしていない。	人数	47	9	2	3	56	50	↗	
	%	77.0	14.8	3.3	4.9	91.8	87.7		
7 地域や家庭、学校であいさつができています。	人数	38	19	3	1	57	54	→	
	%	62.3	31.1	4.9	1.6	93.4	94.7		
8 学校のきまりを守っている。 (廊下を走らない。給食は、静かに食べる等)	人数	28	29	2	2	57	50	↑	
	%	45.9	47.5	3.3	3.3	93.4	87.7		
学力向上・ 学校研究	9 チャイムと同時に号令・ベル学・ふり返りができている。	人数	24	32	5	0	56	48	↑
		%	39.3	52.5	8.2	0.0	91.8	84.2	
	10 話すルールができています。 ・友だちに向かって位置を変えて話す。	人数	38	20	3	0	58	54	→
		%	62.3	32.8	4.9	0.0	95.1	94.7	
	11 聞くルールができています。 ・友だちの話を体を向けて最後まで聞く。	人数	39	19	3	0	58	53	→
		%	63.9	31.1	4.9	0.0	95.1	93.0	
12 授業では、友だちや先生と課題をつくれるようになってきた。	人数	37	18	5	1	55	52	→	
	%	60.7	29.5	8.2	1.6	90.2	91.2		
13 自分の考えをノートに書いたりまとめたりすることができるようになった。	人数	38	17	4	2	55	52	→	
	%	62.3	27.9	6.6	3.3	90.2	91.2		
14 朝学習やドリルタイムでの活用問題が、解けるようになった。	人数	45	12	4	0	57	51	↗	
	%	73.8	19.7	6.6	0.0	93.4	89.5		
授業	15 授業は分かりやすい。	人数	46	11	2	2	57	54	→
		%	75.4	18.0	3.3	3.3	93.4	94.7	
	16 先生は、分からないことがあると、ていねいに教えてくれる。	人数	50	10	1	0	60	56	→
%		82.0	16.4	1.6	0.0	98.4	98.2		
17 先生は、ほめたり、はげましたりしてくれる。	人数	50	10	1	0	60	57	→	
	%	82.0	16.4	1.6	0.0	98.4	100.0		
家庭学習	18 学習したことが、よく分かるようになるための自学ノートを書いている。	人数	26	20	6	9	46	40	↑
		%	42.6	32.8	9.8	14.8	75.4	70.2	
19 時間を決めて計画的に家で宿題をしている。	人数	32	15	5	9	47	46	↘	
	%	52.5	24.6	8.2	14.8	77.0	80.7		
表現力	20 授業や行事で自分のまとめたことや練習したことを発表できた。	人数	37	20	3	1	57	56	↘
		%	60.7	32.8	4.9	1.6	93.4	98.2	

※ 表中の A ~ D については、以下の通りです。

A : あてはまる B : どちらかといえばあてはまる C : どちらかといえばあてはまらない D : あてはまらない

※ 矢印は、肯定的回答 (A+B) の増減を表しています。

↑ 5ポイント以上 上昇     
 ↗ 3～5ポイント上昇     
 → 同程度  
↓ 5ポイント以上 下降     
 ↘ 3～5ポイント下降

#### <生徒指導 他について>

生徒指導では、質問項目3「自分の役割に責任を持つ」質問項目8「学校のきまりを守っている」の肯定的回答の割合がともに5ポイント以上増加しました。今年度は、年度当初に6年生が「最近、あいさつの声が小さくなっているのではないか」「廊下を走っている人が増えたのではないか」との問題意識をもって、自主的に各教室を回ってあいさつ運動をしたり、廊下を走らないように廊下の要所要所に貼紙を貼ったコーンを置いて注意を促したりしてくれました。最高学年として全校児童を引っ張っていく役割を6年生は責任をもって果たしてくれ、その結果、全校児童の学校のきまりを守る意識も高まったのではないかと思います。

気になるのは、質問項目1「学校へ行くのは楽しい」の項目で、肯定的回答の割合が減っていることです。前期の調査時は欠席でアンケートに答えられなかった児童もおり、「学校へ行くのは楽しいと」答えた児童の人数は増えているのですが、否定的な回答をした児童も増えた結果、割合が4.5ポイント下がりました。否定的な回答をした児童の様子を今一度しっかり見たり、必要に応じて面談の場を設けたりしながら原因を探り、「学校へ行くのは楽しい」という気持ちを少しでも多く持ってもらえるような手立てを講じて年度末を迎えたいです。

#### <学力向上・学校研究、授業、家庭学習、表現力について>

学力向上・学校研究と授業についての項目は全て肯定的回答が90%以上となりました。その中でも「ベル学」と「活用問題」において肯定的回答の割合が増えており、規律と自信を持って学習に取り組んでいる様子がうかがえ、嬉しい限りです。家庭学習や表現力の項目についても、さらに肯定的回答の割合が増えていくよう、職員一同しっかり取り組んでいきたいと思えます。